

フォーミュラリとは

患者に対して、**有効性、安全性、経済性**などの観点から選択されるべき医薬品集および使用指針

「標準的な薬物治療の推進」

地域フォーミュラリの目的

- ◆ 真の目的は「標準的な薬物治療の推進」であり、それに伴う薬剤費の削減である。
- ◆ 地域医療において有効性(質)、安全性が担保され、ひいては経済性が優れている薬物治療の実施が重要！

地域フォーミュラリ策定のメリット

患者のメリット

- ・病院・診療所などの転院に伴う
医薬品変更の減少
- ・残薬の減少
- ・医療費の削減

薬事日報社
フォーミュラリマネジメント参照

策定メリット

流通のメリット

- ・効率的な在庫管理
- ・効率的な配送

医療機関のメリット

- ・薬物治療の標準化
- ・在庫問題の解消
- ・入院や転院に伴う医薬品鑑別の簡素化

国・自治体・保険者のメリット

- ・医療の質維持及び医療費の削減
- ・災害対策(在庫問題の解消)
- ・ポリファーマシーや残薬への支出削減

薬局のメリット

- ・在庫問題の解消
- ・在宅での処方提案
- ・在宅での医薬品鑑別の簡素化

八尾市地域フォーミュラリについて

八尾市地域フォーミュラリ委員会が作成した地域フォーミュラリは、医薬品の有効性・安全性・経済性等を勘案し、医師が医薬品の選定時に参考として用いる医薬品リストです。これに従うことを医師に強制するものではありません。最終的な処方判断は医師がおこなうもので、医師の処方権は侵しません。

令和3年10月

八尾市地域フォーミュラリ委員会

フォーミュラリ委員会 委員名簿

八尾市薬剤師会	会長	中野 道雄
	副会長	豊口 雅子
	副会長	篠原 裕子
	副会長	森田 圭一
	理事	奥村 隆司
	監事	山村 万里子
	会員	勝山 千男
	会員	小西 滋子
	理事	乾 麻衣子
	理事	南 雅子
八尾市医師会	副会長	吉田 裕彦
八尾市歯科医師会	副会長	松川 善和
八尾市立病院	薬剤部長	西岡 達也
	薬剤部係長	小川 充恵
	事務局次長	小枝 伸行
八尾徳洲会総合病院	薬剤部長	大里 恭章
	副薬剤部長	草薙 みか
医真会八尾総合病院	薬剤科長	坂井 寿美

敬称略

八尾市薬剤師会 地域フォーミュラリ策定手順

2021.03

Step1

- ・ 地域フォーミュラリを検討する薬効群(疾患別)を提案する。
- ・ あわせて、疾患に対する治療薬のフローシート(※1)と薬効群の比較表(※2)を作成する。

Step2

- ・ 提案した薬効群について、八尾市薬剤師会の会員薬局に使用量調査を行う。
- ・ 調査結果をもとに、運用による経済的効果等の資料を作成する。

Step3

- ・ Step1・2で作成した資料をもとに、地域フォーミュラリ原案を作成する。

Step4

- ・ 地域フォーミュラリ原案を、ヒアリングシート(※3)とともに、三師会に配布する。

Step5

- ・ ヒアリングシートをもとに地域フォーミュラリ原案を修正し、地域フォーミュラリ案を作成する。

Step6

- ・ 地域フォーミュラリ案を三師会に提出し、承認を得る。
- ・ 三師会で承認を得た地域フォーミュラリ案について、委員会に提出し、承認を得る。

Step7

- ・ 承認を得た地域フォーミュラリを三師会に周知し、運用を開始する。

(※1) フローシート：
疾患に対する薬剤選択
の流れをまとめたもの

(※2) 比較表：効能
効果、用法用量、相互
作用、薬物動態、薬価、
製剤の有用性などをま
とめたもの

(※3) 地域フォーミュ
ラリ ヒアリングシート

地域フォーミュラリヒアリングシート

問1、別紙(地域フォーミュラリ原案)を運用してもよろしいでしょうか？

- 運用可能
- 修正が必要→問2へ
- 運用不可→問3へ

問2、どのような修正が必要ですか？

問3、運用不可とした理由をご記入ください。

八尾市地域フォーミュラリ運用状況

2021年11月

抗インフルエンザ薬、PPI,P-CAB 初版

2022年 9月

PPI,P-CAB第2版、HMG-CoA還元酵素阻害薬

2023年 3月

PPI,P-CAB第3版、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬

2023年7月

アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬第2版